





澁澤榮一記念館 (2019.7.7 撮影)



旧澁澤邸「中の家」・生誕の地 (2019.7.20 撮影)



澁澤榮一ゆかりの煉瓦建築、誠之堂・清風亭 (2019.8.10 撮影)



尾高惇忠生家の煉瓦土蔵 (2019.7.20 撮影)



瀬”地区には、清水川の船着場もあります。  
**【深谷市の論語の里めぐり】**  
 今の私は、高校・大学を卒業してから縁があつて、昭和56(1981)年から深谷市の隣の熊谷市に居住しています。深谷市の煉瓦工場(旧日本煉瓦製造工場(株)上敷免工場)は、セメントコンクリートに関する

る材料学(足利工業大学工学部在職時)を専門技術としておりましたので、良く知るようになりまして。大学生とともにJR深谷駅からの煉瓦工場専用線(深谷駅〜上敷免)跡地の遊歩道、プレートトガーダー橋展示、煉瓦工場の Hoffman 輪窯(国重要文化財指定の一つ)などの見学にも行き

ました。旧煉瓦工場の Hoffman 輪窯は、保存修理の耐震補強工事が令和6(2025)年頃まで行われています。補強工事完了後には、また訪れたいと思います。澁澤榮一翁の足跡は、この他にも、「澁澤榮一記念館」「澁澤榮一一家」「尾高惇忠(藍香)生家・煉瓦土蔵」「誠之堂・清風亭」など煉瓦造・煉瓦風造りの史跡が市内に広く点在しています。JR深谷駅の橋上駅舎も東京駅を模した煉瓦風造りの一つです。

【エピソード】

近代日本資本主義の父と云われる実業家・澁澤榮一翁は、埼玉県民・深谷市民が誇る人物であり、出版物『論語と算盤』を読まれた校友の皆様も多数いらつしやるかと思ひます。只今は、日本だけでなく、全世界が“新型コロナウイルス”の感染の拡大”の収まる心配をみせず、観光・見学を積極的に計画できない状況にあります。感染拡大が収まることを期待しつつ、校友会埼玉東部支部では、「支部女性の集い」の催しとも連携して、令和3年秋頃には、深谷駅または熊谷駅発着の『澁澤榮一論語の里めぐり』(観光バス)を企画する予定にしています。なお、詳細計画は、支部会報「彩の国さいたま第17号」(令和3年5月に発行を予定)に掲載し、ご案内を校友の皆様にお届け致します。また、企画に当たっては、深谷市、熊谷市在住在勤の校友の皆様のご協力もお願いしたいと思います。支部会員に限らず、多くの他支部会員の皆様のご参加も願っています。

(写真編集・文責:黒井登起雄)

※深谷市観光情報とアクセス…JR深谷駅の北側に澁澤榮一ゆかりの観光施設(中の家生家、記念館、誠之堂・清風亭など)が点在しています。アクセスは、「くるりん号」の一日乗車券(二〇〇円)の利用が便利です。バスの発着場所、時刻は深谷市HPで確認して下さい。  
[www.city.fukaya.saitama.jp/](http://www.city.fukaya.saitama.jp/)

支部校友会の活動状況の情報を左記のメールアドレスにお寄せ下さい。(広報担当 黒井登起雄)

saita\_casf@yahoo.co.jp



JR 深谷駅と駅前の青淵 澁澤榮一像 (2019.8.10 撮影)



JR 深谷駅の煉瓦風駅舎(正面, 2020.3.15 撮影)